

第3回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 3rd Student Formula SAE Competition of Japan



2005年9月6日
社団法人 自動車技術会 会長

萩野道義

全日本学生フォーミュラ大会は今年で第3回を迎え、海外からの3チームを含めて参加校は実に45校になりました。今年も関係者の皆さまと一緒に、毎年着実に発展する本大会を迎えられる事を大変嬉しく思います。

既に過去2回の大会を経験された方々をご存知の通り、学生フォーミュラ大会は単にクルマのスピードを競うだけのレースではありません。クルマ作りのプロセスである商品企画から、製造、性能の確認までの全てを短期間に体験し、プレゼンテーション能力を含む総合力を競い合う場です。まずどんなクルマを作りたいかをマーケティング意識とコスト意識を持って構想デザインし、最適なエンジンを選び、フレームを設計し、数々の創意工夫を盛り込んでチーム全員の力を合わせてクルマを作っていくという、夢に向かったもの作りの競技会と言えます。

学生諸君は、競技という高いレベルの実践が要求される現場で、自分たちの作るクルマという現物を前にして、数々の困難な課題に直面し、悩み、苦しむことと思います。各チームは一体となって、お互い真剣に切磋琢磨し、様々な形での戦いを繰り広げる場を実体験するでしょう。私は、諸君のチームが課題解決に果敢にチャレンジし、もの作りを通じてより大きな達成感と自信をつかみ取ることを期待すると共に、将来、それぞれの分野でこの経験が活かされるものと確信しております。

自動車技術会としては、この「極めて高いレベルでの、もの作りを体験できる場」を今後も大切に益々発展させていきます。将来的には、国内大会に加えて、皆さんが世界で力を競い合える場を創り出していくことも考えております。

また、この活動に参加または支援して頂いている、チームの皆さん、各校の先生方や諸先輩、スポンサー・後援団体の皆さま、そしてボランティア参加のスタッフメンバーを含む大会を企画運営している方々に、改めて心より御礼申し上げます。

最後に、本大会が参加者全員にとって実り多きものとなるよう、何としても安全に、心の底から楽しく、一人ひとりがしっかりとした成果を残せることを祈念して、私のご挨拶と致します。